

No. 1389

近代国家への足跡

— 明治人物展 —

東京北の丸公園の国立公文書館で「公文書にみる明治人物展」が開かれました。この展示会は明治時代という激動の時代に生き、それぞれの分野で活躍した人物に関する資料を展示し、近代日本の夜明けと言われる時代をより深くさぐろうと開かれたもの。館内には明治4年特命全権大使として欧米各国へ差遣を命じられた岩倉使節に関する資料など170点余りが展示されました。大日本帝国憲法は枢密院で3回にわたる読会のあと、明治21年2月11日発布されました。封建時代から近代国家へと一大転換をした明治時代、このような波らんに満ちた時代を知るうえで貴重な展示会といえます。

美女と白バイ

— 三重・鈴鹿 —

第12回白バイ安全運転競技会と中日ミスカメラを写す会が10月19日、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開かれました。あいにくの小雨模様にもかかわらず競技会には全国から腕に自信の白バイ隊員約100名が参加しました。競技種目はバランス走行など4種目。これは車両点検競走。あらかじめ準備された整備不良のオートバイを所定時間内で整備点検するものです。続いて行われたのは目測測定。走っている車のナンバー、乗車人員、速度などを正確によみとる競技。ひき逃げや重要事件の緊急配備にはかせない識別能力です。中日ミスカメラの撮影会にはアマチュアカメラマン約150人がつめかけました。ポーズを作るミスカメラ。やっぱり美女の方に人気があったようです。

「忍法」幼稚園教育

— 東京・田無 —

東京田無市にある幼稚園問題研究所。この幼稚園が取り入れている「忍者教育」は独特の教育方法。忍者の実技のある木曜日には朝から母親たちが作ってくれた忍者姿。4歳児の「伊賀組」5歳児の「甲賀組」合わせて36人が通園している。昭和42年はらい下げ第1号の都電は「伊賀組」の教室。「甲賀組」のある園舎には様々な忍者教育のための工夫がこらしてある。2階への階段はほぼ90度。入園して1カ月足らずでこのとおり、自由自在に登り降り。この日の修行はまず伊賀組から。指導の先生は剣道3段の本田先生とくの一の磯先生。ズキンに地下タビ、そして刀をつけるとチビっ子忍者のできあがり。近辻園長は「従来の体操はお仕着せです。子供たちの弱点は心の力がないことです。それを養うにはどうしたら良いかというところから忍者の方法が取り入れられた……」。登って走って猿飛佐助のチビっ子版、なかなかユニークな「忍法」幼稚園教育です。